

第10回長臨技WEBセミナー Q & A

Q1：認定免許を取得した後に異動しても異論ないですか？

回答：（**壽柳技師**）退職や入職、転勤や昇格などの人事や、施設内の人材育成など様々な要因から、異動は仕方ないことです。

おかれた立場で真摯に業務を遂行し、自身のベストを尽くす。各分野のスペシャリストを目指すだけでなく、ジェネラリストを極めていくことも検査技師の一つのスタイルではないかと思います。医師や看護師など他職種からも、信頼し相談されるような技師になりたいものです。

回答：（**塚本技師**）認定免許の維持に必要な単位取得が可能であるのならば異論はございません。多分野・検査室を経験することは良いことだと思います。

第10回長臨技WEBセミナー Q & A

Q2: 一般認定の試験勉強で学んだことで、施設オリジナルだった検査手順を標準に合わせて変更した項目はありましたか？

回答: (壽柳技師) 髄液以外の穿刺液の測定方法や内容を一部見直しました。まず、細胞数測定に自動分析装置を導入しました。それに伴い、以前は白血球数のみを算定していましたが、有核細胞数を測定するように変更し、単核球・多形核球の割合を迅速に報告できるようになりました。最終的には塗抹標本作製し、異型細胞等も含めた細胞分類を報告しています。また、体腔液の生化学項目にアルブミンを追加しました。その他としては、精液検査の形態を塗抹標本で観察し、正常形態率を観察するようになりました。まだまだ、尿沈渣の報告様式も円柱や結晶成分など見直しが必要な所もありますが臨床への説明や、検査部内のトレーニングの必要性などの点からなかなか変更できずにいます。